

# Caduceus Information

## カデューシャス通信 Vol.15

(平成25年12月号)



photo 総務課 本間重規



### シンボルマークについて

当院のシンボルマークは、平和と医術の象徴であるカデューシャス (Caduceus) のつえを頭蓋骨穿孔器 (ずがいこつせんこうき) に置きかえ、ヘビの顔は世界を知る意味で外へ向けています。翼の下にある **脳** は脳神経外科 (Neurosurgery) のことを意味しております。

- ・何故、地域の病・病連携および病・診連携が必要なのでしょう
- ・病病・病診連携の会
- ・新任ドクター紹介
- ・スタッフ紹介

医療法人社団 研仁会 北海道脳神経外科記念病院

# 何故、地域の病・病連携 および病・診連携が必要なのでしょう



院長 会田敏光

昨年4月に私どもの病院は、新築移転しましたが、これは、当院が地域の皆様の健康を守り、いままで以上に皆様から必要とされる病院になることを目的としたものです。今後もこの地域に根をはり、その根をひろげていきたいと考えています。当院は、脳神経外科、神経内科の専門病院であり、365日の救急に対応しております。直接、自宅から、救急車や自家用車でこられる患者様も多いのですが、かかりつけの開業医の先生方や病院からの紹介や入院依頼をされる場合も多く、また介護施設からの相談や受診の依頼の場合もあります。当院で、治療され、その後のリハビリを終了し、退院となっても、治療の継続が必要であったり、自宅での生活に不自由があったりする場合があります。その際は、もともとのかかりつけの先生方に治療の継続をお願いしていますし、当院のケースワーカーがケアマネージャーの方々や介護施設の方々と連絡をとりあって、退院後の生活が可能となるようなお手伝いをしています。特に当院で治療された脳卒中の患者様には、治療のときれがないように、地域の開業医の先生方や介護スタッフの方々にも患者様の現状が把握できるように脳卒中あんしん提携ノートを発行しています。脳卒中以外の病気でも、当院だけでなく、地域のかかりつけの先生方や介護スタッフのみなさんに支えてもらい、より安心のできる生活をおくっていただきたいと考えています。そのために私どもの病院で、自分たちが、いまできることや今後なにをやりたいかを知っていただくためと、地域のかかりつけの開業の先生方や病院の先生方と、直接に顔をみてお話しをできる関係をつくるため、年1回の病病・病診の連携の会を開催してきました。今年も10月24日に第6回の連携の会を開催し、多くの病院や診療所の先生方においでいただきました。今後も地域の先生方や介護スタッフの皆さんと連携を深めて、患者様の健康と生活をささえていきたいと考えています。

# 病病・病診連携の会

副院長・地域医療連携室室長 今村博幸

第6回北海道脳神経外科記念病院病病・病診連携の会が10月24日午後7時より東京ドームホテル、ピアリッジホールにおいて開催されました。本会は平成15年10月30日に第1回が京王プラザホテルにて開催されてから、本年度で10年目となります。第2回、第3回は5月、6月の開催でしたが、以後は秋に行われています。病院の新築移転もあり、第5回を平成22年に開催以降はしばらくお休みをいただいておりますが、病院開院30周年の本年より再び開催させていただくことになりました。中央区から西区に移転して初めての開催となり、特に西区の医療機関の方々には当院の診療内容をご理解いただけるようにと、講演の内容を考えました。

そもそも当院の連携の会の趣旨は、日ごろ行われている当院の診療内容を、近隣の医療機関の方々に知っていただく機会としたいとの考えで、第1回より行っております。毎回当院勤務の医師による講演を行っており、今回は本年3月まで7年間当院に勤務し、4月より北海道大学脳神経外科助教として



開会挨拶をする会田敏光院長

転出いたしました鏡谷武雄医師より「脳虚血再灌流傷害の基礎と臨床」、当院神経内科副院長 緒方昭彦医師より「最新の認知症診断と治療」、当院脳神経外科副院長および脊椎脊髄センター長 小柳泉医師より「脊椎・脊髄外科の最新の動向」という演題名での講演を行いました。脳梗塞、認知症、脊椎・脊髄疾患と、いずれも多くの患者さんが当院において、通院もしくは入院加療を受けておられる疾患の、最新の情報と病態・治療についての内容でした。過去5回の講演の中にはこれらの内容の他に、脳腫瘍、三叉神経痛と顔面けいれん、パーキンソン病、血管内手術、高次脳機能障害等



をとりあげて、神経疾患について広くご理解をいただけるような内容の講演会を行っています。今回も各講演の後には質疑もいくつか寄せられ、活発な内容の講演会となりました。

最後に北海道大学脳神経外科教授であり、現在北海道大学病院院長でもあります寶金清博教授より、主に北海道および北海道大学病院における医療環境について医療連携の立場よりコメントがありました。大学病院ならではの医療現場の実情のお話で

あり、他ではあまり聞くことのできない内容で、好評を博しておりました。

講演会終了後の情報交換会では、参加いただきました方々の日ごろの診療のご苦労話等を拝聴させていただき、私どもが少しでもお手伝いできればと、改めて考えさせられた次第です。

西区に移転と言いましても、病院の所在地が大きく移動したわけではありません。これまで通り中央区、北区をはじめ近隣の医療機関の方々と親密な連携をとりながら、診療を行って行きたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



講演中の寶金清博北海道大学病院長

## 新任ドクター紹介

### 研修医 川内 豪(かわうち たけし)

皆さん、初めまして。北海道大学初期臨床研修医2年目の川内豪と申します。

本年10月より北海道脳神経外科記念病院にて研修をさせていただいております。研修期間は半年間となっております。これまでに北海道大学、市立札幌病院で研修を受けてまいりました。出身は大阪府で出身大学は佐賀大学です。初期臨床研修後は脳神経外科にと決めております。まだ右も左もわからぬ未熟者ですが、同院で経験や知識、体力や根性を積ませていただき、今後の医師人生に生かしたいと考えております。よろしく願い申し上げます。



## スタッフ紹介



### 2階病棟 看護師 丸屋はるか

私は、2階の急性期病棟で働かせていただいています。今年3月に看護大学を卒業しました。わからないことばかりですが、先輩たちに支えられ、今では夜勤もできるようになりました。急性期の看護は展開が早く、忙しい毎日ですが、患者様に教えられることがたくさんあります。患者様への笑顔を忘れずにこれからも頑張ります！



### 外来 看護師 樋口美樹

今年4月より外来で働かせていただいています。約1年半近く看護の現場から離れており、また脳外科が初めてだったので、入職まもない頃は不安や緊張の毎日でした。今ではスタッフや患者様の温かい言葉に支えられ、楽しみながら仕事ができるようになりました。外来には、つらい症状があり大きな不安を抱えている患者様や、病気を持ちながらもその病気と向き合い、元気に社会生活を送られている方など、様々な患者様が受診されます。患者様の病気だけを看るのではなく、一人の人として患者様を理解することを、日々、心がけ、「患者様第一」の看護を目指していきたいと思えます。



### 医療相談室 退院調整看護師 社会福祉士 福士まゆみ

私は4月から退院調整看護師として医療相談室に勤務しております。これまで看護師として様々な場面で患者様・ご家族様と関わらせていただき、また患者家族の立場としては父親が脳血管疾患で入院し在宅看護を経験しました。これらの体験から、あらゆる社会資源を有効に活用することで患者様の希望する生活に近づけられるのではないかと考え、3月に社会福祉士資格を取得しました。現在は、相談員として患者様・ご家族様のお話を聞かせていただき、その上で今後の生活について一緒に考えながら在宅生活・施設入所・転院など必要な支援のお手伝いと、支援に関わる様々な職種の方と患者様をお繋ぎする連絡調整も行っております。些細なことでも今後の生活に繋がる大切な情報ですので、どうぞお気軽に当院相談員へお声かけください。



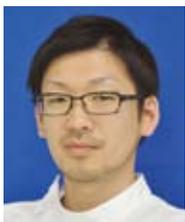
### 放射線技師 伊藤秀哲

私たち放射線技師が扱うCT、MRIなどの機器は、日々新しい技術が開発されています。そういった技術を活用し、患者様の病気の診断により良い画像を提供できるよう努力していきたいと考えています。また、患者様が安心して検査を受けていただけるよう、ご質問などにも対応したいと思っておりますので、わからないことがあればご相談ください。



### 作業療法士 大坂浩一

患者様やご家族に“作業ってなんですか”“なにをするのですか”とよく聞かれることがあります。私は作業療法の“作業”は病気になり障がいを有した患者様の人生を再構築することだと考えています。日常生活動作(食事や更衣、入浴など)やカラオケ・スポーツといった趣味活動、仕事も作業の一つです。また患者様が笑顔になれる環境を探索し、風船バレーやボウリングなど集団レクリエーションも取り入れながら楽しくリハビリテーションを提供しています。今後も関連職種と連携し、患者様がその人らしい生活を取り戻すことができるように一緒に問題を共有し、解決・支援することに努めていきたいと思えます。



### 言語聴覚士 大門正太郎

アカデミー賞受賞『英国王のスピーチ』はご覧になりましたでしょうか。また、『潜水服は蝶の夢を見る』、『マイフェアレディ』などの劇中で活躍する職業と言えど少しマイナーなお話になるかもしれませんが、それは言語に関する仕事です。当院でも言語聴覚士なる職種が存在し、主に脳卒中や脳腫瘍術後における、失語症(その他、高次脳機能障害)や構音・嚥下・聴覚障害のリハビリを専門に行っております。私の故郷は北斗市(旧上磯町)です。函館の脳外科で5年間勤め、大学時代の恩師の勧めで当院にお世話になることになり、もうすぐ4年目を迎えようとしています。特に専門としておりますのは「神経心理学」です。馴染みのない方が多いかもしれませんが、脳の病気の影響で、言語・記憶・視覚・行為を介した日常普通に行っている活動がうまくできなくなってしまった方々(いわゆる高次脳機能障害)へリハビリを提供する中で、人間の認知機能全体を考えるとといった学問です。リハビリの知見については日進月歩、常に新しい知識を勉強し、リハビリにどう活かせるかを考えています。また、知識だけでなく、実際のリハビリは患者さんと共に作り上げていくものだと考えています。ご家族や患者さんご自身と共によく考え、よりよい病後の生活サポートができればと常々考えております。脳の病気が原因でおきる症状は、理解に苦しい場合も多々あるかと思えます。お気軽に声を掛けて頂ければと思います。

# 外来診療体制

## 外来担当医表

		月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT				
							第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
午前	脳神経外科	会田青樹 今村	会田小柳 小笠	吉野柳	会田今村 本宮	会田青樹 加藤	今村青樹 森脇	笠谷小柳	会田加藤	笠谷小柳	交代制
	神経内科	緒方	輿水	緒方輿水	輿水	緒方	休診	輿水	休診	休診	
	循環器内科	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~11:30)	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~12:30)	休診				
午後	脳神経外科	森脇青樹	加藤小柳 吉野	山内	今村 (14:00~16:00) 本宮 (15:00~17:00)	今村 (14:00~16:00) 加藤 (15:00~17:00)	休診				
	神経内科	輿水		大槻方	輿水		休診				
	循環器内科		野村 (14:00~17:00)		野村 (14:00~17:00)		休診				

注)循環器内科、野村医師の診察は再来のみとなります

### 受付・診療時間

#### ◆ 午前の診療

受付は、平日が午前8時40分から11時30分まで  
(※土曜日は午前8時40分から12時30分まで)  
診察は、午前9時より行います

#### ◆ 午後の診療

受付は、午前11時30分から午後5時まで  
診察は、午後2時より行います

- ①診療予約は午前9時から午後5時まで、外来受付またはお電話でお受けいたします。予約のお申込み・お問い合わせは、原則受診希望日の前日までをお願いいたします。予約をされていない患者様も、従来通り診察を受けていただけます。
  - ②患者様の症状等によって診察の順番が前後したり、急患の対応等で診療開始時間が遅れることがありますのでご了承ください。
  - ③診療医師が不在の時は、他の医師が診察させていただきます。不在日は掲示板にてご確認ください。
- 上記のほか、緊急手術等によりやむを得ず診療医師が変更する場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ④当院は24時間救急対応をいたしております。  
お電話にてご連絡の上、ご来院下さい。(TEL:011-717-2131)

## 歯科

院内歯科では、外来はもとより入院中の患者様の治療も行っています。

### 診療時間

月・金	10:00~13:30	15:00~18:00
火・木	10:00~13:30	15:00~20:00
水	10:00~13:30	15:00~18:00*
土	10:00~14:00	

\*水曜日の午後は他院往診のため、休診となる場合があります。  
お電話でご確認の上、ご来院下さい。

### 休診日

第2・第4土曜日、日曜日・祝祭日

### 歯科直通

ナイナイムシバ  
TEL&FAX:(011)717-1648

### 理念

1. 患者様第一を旨とし、患者様とご家族に安心と満足を提供致します。

### 基本方針

1. 分かりやすい医療情報を提供致します。
2. 病々・病診連携を推進致します。
3. 根拠に基づいた最新の医療を提供致します。
4. 24時間365日に救急医療体制を提供致します。
5. 健全な病院経営と効率化に努力致します。
6. 安全な医療を提供出来るよう職員の安全教育に努めます。

### 患者様の権利

私たちは患者様の権利を尊重します

1. 患者様の意志および人権は守られます。
2. 患者様は十分に納得出来るまで説明を受けることが出来ます。
3. 患者様は治療方法を選択することが出来ます。
4. 患者様は平等で適切な医療を受けることが出来ます。
5. 患者様の医療上の個人情報を守られます。
6. 検査、治療にあたっては、他の医療機関での説明を得る事(セカンドオピニオン)が出来ます。

## Caduceus Information

私たち 北海道脳神経外科記念病院は、

脳・脊髄・末梢神経の疾患を

急性期からリハビリテーションまで

総合的に診る病院です。



### 交通アクセス

- ① 地下鉄南北線「北24条」駅から中央バス 北72  
または 西51「南新川」下車
- ② 地下鉄東西線「二十四軒」駅からJRバス 軒32  
「八軒8条東4丁目」下車
- ③ 地下鉄南北線「さっぽろ」駅13番出口を出て右、  
西武デパート跡地南側から中央バス 西71「南新川」  
または 西51「北22条西15丁目」下車

医療法人社団 研仁会 北海道脳神経外科記念病院

〒063-0869 札幌市西区八軒9条東5丁目1-20 TEL.011-717-2131 <http://www.hnsmhp.or.jp>